

針ノ木岳山行 山行報告

(山行参加者 10 名：以下敬称略)

前泊組：三浦 (L)、加田 (SL)、鈴木夫妻、宿輪、市川 (6 名)

夜行バス組：河野、奥村、山下、土田 (4 名)

(コースタイム報告)

10月1日(土)

前泊組(車移動) 竹乃家 5:00 = (ジャンボタクシー) = 扇沢駅 5:20

夜行バス組と合流。

(行程)

扇沢登山口 (1433m) 6:05⇒7:55 **大沢小屋** 8:10⇒9:03 丸太橋 9:15⇒10:05 ノド高巻き(鎖場上部) 10:15⇒12:30 **針ノ木峠** (針ノ木小屋) 13:20⇒14:31 **針ノ木岳頂上** (2821m) 14:38⇒15:48 針ノ木小屋(泊)

針ノ木岳登頂は、加田・鈴木夫妻・市川・土田(第1班)と宿輪(第2班)の6名です。2日目は雨天のため、ピークハントは断念し下山。

10月2日(日)

(行程)

針ノ木小屋 6:50⇒8:15 ノド高巻き(鎖場上部) ⇒9:05 丸太橋 9:20 ⇒10:03 **大沢小屋** 10:25⇒11:55 **扇沢登山口** (解散※)

(※) 有志 8 名は大町温泉(薬師の湯)に立ち寄り湯し、更に有志 7 名が松本駅で懇親食事会。

(懇親食事会) 信州松本本手打ちそば こばやし駅前店 TEL0263-36-1555

(復路電車) 特急あずさ 34 号 松本 19:21 = 新宿 22:07 着

(山行感想記)

10月7日の針ノ木岳山頂の天気予報(6日14時更新)は、終日晴れ(予想最高気温8.9度 予想最低気温1.9度 降水確率10%)。こんな日に山頂に立ちたかった……。今年の8~9月は次々と台風が発生して、雨が多い異常な晩夏~初秋でした。今回の針ノ木岳山行も、予報は小雨で晴れ間が期待できない日程でした。前泊の30日は晴れたので、1~2日に暗雲が。

扇沢で全員が合流して、6時5分登山口から歩き始める。針ノ木峠まで標高差1107mを標準タイム5時間かけて歩く。スタートから雨具は着用してました。小雨模様の中、大沢小屋までは比較的歩きやすい道程。針ノ木雪渓(北アルプス三大雪渓)はまったく雪はなく、数回の渡渉の後、「ノド」という狭い場所で急な岩場を高巻きますが、ちょっとスリリングで楽しい!

その先はいよいよ胸突き八丁、九十九折りの急坂を少し空気の薄さを感じながら高度を上げると、12時30分針ノ木峠(2540m)に着いた。宿の手配を宿輪さんがすませ、後からくるメンバーを待つ。

小屋はドコモ(携帯)のブースターがあり、小屋内では私のスマホは感度良好。

早速「詳細天気予報アプリ」で今日明日の針ノ木岳の予報をチェックした。

今日は曇り、明日の1~10時は小雨の予報だ。今日を逃すと登頂はできないと判断しました。峠で後続の皆様を50分待ちましたが、眼下に姿が見えない。

登頂できる機会を逃さない! 第1班は13時20分、峠を出発して針ノ木岳山頂に14時31分登頂。万歳三唱をした。360度の大展望は、ガスの中で何も見えず。

下山を開始して10分頃、登ってきた宿輪さんと途中で出会う。

峠に15時48分着。宿輪さんからの情報では、他のメンバーは今日の登頂はしないと聞く。

小屋の夕餉は5時30分から開始。なんと私の大好きなエビスビールの生ビールは千円。ここは飲むしかない!と乾杯をした。標高2540mで飲むアルコールは酔いの回りも早く、私も赤ら顔だ。

食後に小屋のロビーで、大宴会ならぬティー&コーヒータイムは全員集合で貸し切り状態。奥村さん持参のカミュは部屋から持ち込み。山下さん、土田さんの携帯バーナーが大活躍。皆さん、ごちそうさまでした。明朝のピークハントの期待で盛り上がり、夜も更けた。夜中1~4時頃の大雨の音に目が覚めた。

針ノ木岳、蓮華岳の登頂は、小やみになったが雨天で断念となった。

6時50分下山開始。小雨模様のなか滑らないように慎重に小股で歩き、変化のある沢沿いの道を楽しむ。黒部峡谷と立山展望ができなかったが、小雨の山行も、これまた良い経験であった。再度挑戦があるかな? また来る日まで。さよなら!

2016年10月6日報告(文責:加田)